

広報くじ 10

2012
月1日号
No. 158

復興への光

■2012久慈秋まつり開催

復興への鼓動

P 2—5

■クライペダ市・市制施行760周年記念式典

互いを支えあう揺るぎない絆

P 6—7

やませ大盆踊り大会2012

P 8

9月20日から4日間にわたり開催された久慈秋まつり。21日のお通りではライトアップされた山車が、訪れた人々を魅了しました（関連記事2—5号）



め組
平清盛 海賊討伐



備前組
侍と化け猫



に組
～東洲斎写楽～



中組
新・水滸伝



上組
～三社の神々と七つ面～



新町組
日本振袖始～出雲国簸の川川上の場～



本町組
竹取物語～かぐや昇天～



巽町組（当番組）
源頼光と四天王～大江山の鬼退治～

「セイヤッ！オイサッ！」威勢のいい掛け声でまつりを盛り上げ大いに沸かせた十八日町朋友会のみこし



復興への鼓動

9月20日から23日までの4日間、中心市街地で開催された久慈秋まつり。復興に向けて歩き始めた久慈市の姿を見ようと、沿道には多くの観客が訪れました。

全力でまつりを盛り上げよう、そんな熱い魂と情熱が込められた庄巻の山車ものがたり。威勢のいい掛け声で観客を大いに沸かせたみこし組。

生き生きとした表情で太鼓や踊りが披露された郷土芸能大パレードは、まちに彩りを与え観客を魅了しました。

23日のお還りまでの間、秋まつりから聞こえてくる全ての音には、希望を持って前に進んで行こうとする復興への鼓動が感じられました。

- 1／初披露となっため組の音頭を上げる田村善博組頭
- 2・3／力強い太鼓と華やかな笛の音がまつりの雰囲気盛り上げます



活気



- 1 / 切れのある踊りとチームワークで観客を魅了したくじ夢の会のよさこいソーラン
- 2 / みこしをかつぐ湊宝心会の子どもの威勢のいい掛け声にまちは活気に包まれました
- 3 / 長内組の子どもたちは鎮魂の願いを込め、元気よく創作みこしを引きました



沿道には大勢の観客が詰め掛けました

みんなの笑顔が 復興への原動力

東日本大震災から1年6カ月、復旧・復興に向けて前に進む中で開催された久慈秋まつり。残暑も過ぎ、23日のお還りは小雨が降る中で運行が始まりました。次第に雨足は強まりますが、山車組やみこしなどの威勢のいい掛け声は運行を終えるまで続きます。観客も帰ろうとはせず、運行の最後を飾る当番組の見返りを最後まで見送っていました。その表情にはまつりを楽しみ、前を向いて進もうとする明るい笑顔が見られました。

参加する全ての人の情熱が響いた秋まつりは、世代を超えて心を一つにし、まさに元気を与えてくれました。

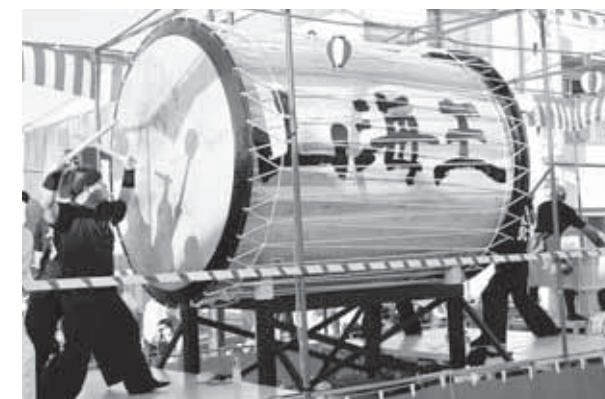
一歩ずつ着実に進む復興を後押しするような山車組やみこし、踊り、観客の歓声、みんなの笑顔―、その全てが復興への原動力。久慈の明るい未来を強く感じさせる秋まつりでした。

心を一つに、 笑顔で前に進もう

復活



上 / 長内小学校は元気なおはやしと太鼓のさんさ踊りを披露
下 / 息の合った優雅な流し踊りに沿道からは、たくさん拍手が送られました



津波で全てを流された久慈備前太鼓は、多くの人から熱い支援を受け復活。9月22日に初披露となった大太鼓「山海王」は直径2.25mと東北でも最大級の大きさを誇ります。久慈の自然を象徴する「山」と「海」が名前の由来です

優雅



3 2



4



5



6



7

- 1 / 記念品の山内隆文市長直筆の書の掛け軸をグルブリャウスカス市長に贈呈
- 2 / 姉妹都市からのメッセージに拍手をするグルブリャウスカス市長（右から2人目）とグリバウスカイト大統領（同3人目）
- 3 / 記念式典で山内市長のメッセージを代読する外館副市長
- 4 / デクティエネ国会議長（右から3人目）らと海の祭典パレードを見学
- 5 / マジュピダス小中学校でドゥムチュス校長から記念品を受領
- 6 / ネリंगा市のアンタナス・ヴィンクス市長を表敬訪問
- 7 / 日本大使館を訪問し、白石大使と対談



1



記念式典のフィナーレを飾ったクライペダ市の子どもたちによる歌と楽器のパフォーマンス

訪問事業の主な日程

- ・ 7月29日…久慈市を出発
- ・ 7月30日…リトアニア共和国の首都ヴィリニウスに到着
- ・ 7月31日…日本大使館を表敬訪問。杉原千畝記念館を視察後、クライペダ市着
- ・ 8月1日…記念式典・記念行事出席。祝祭夕食会
- ・ 8月2日…クライペダ市長表敬訪問（東日本大震災の被災状況、及び復興状況の説明）、ネリंगा市長表敬訪問
- ・ 8月3日…クライペダ市内視察（マジュピダス小中学校他）。「海の祭典」パレード視察
- ・ 8月4日～7日…クライペダ市発。ヴィリニウス経由で帰国

温かい思いを胸に

7月29日に市役所を出発した訪問団は、7月30日に首都

長い歴史を持つ同市の市制施行760周年記念式典に招待された本市は、震災に対する支援への感謝と復旧・復興状況を直接伝えるため、外館正敏副市長、八重櫻友夫市議会議長をはじめとする団員4人で、7月29日から10日間の日程で同市を訪問しました。

7月29日に市役所を出発した訪問団は、7月30日に首都

長い歴史を持つ同市の市制施行760周年記念式典に招待された本市は、震災に対する支援への感謝と復旧・復興状況を直接伝えるため、外館正敏副市長、八重櫻友夫市議会議長をはじめとする団員4人で、7月29日から10日間の日程で同市を訪問しました。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災…。本市の姉妹都市であるリトアニア共和国クライペダ市は、震災発生直後から子どもや若者たちによる「千羽鶴キャンペーン」や多額の寄付金で本市の復旧・復興を支援してきました。

感謝を伝えるため

8月1日、記念式典のオープニングイベントで、八重櫻議長は「クライペダ市の皆様の温かい思いを胸に、久慈市民一丸となって復興に取り組めます」とスピーチ。その後、ダリア・グリバウスカイト大統領、白石和子リトアニア共和国日本国大使をはじめとする来賓など約500人を前に、市長からのメッセージを外館副市長が代読しました。

強く深いつながり

琥珀を縁に結ばれた両市は、多くの困難のたびにお互いを支えあい、両市の「絆」は互いの想像を超え、強く、そして深いものになりました。この先も両市で手を取り合い、この大切な「絆」をつなげていくことを確認し合い、訪問事業は無事、全日程を終えました。

市で研修を行ったヴィタウタス・ドゥムチュスさんが校長を務めるマジュピダス小中学校などを表敬訪問しました。また、例年50万人を集める伝統のイベント「海の祭典」では、イレナ・デグティエネ国会議長と市役所組のメンバーと一緒に羽織りながらパレードを見学し、交流を深めました。

互いを支えあう 揺るぎない絆

クライペダ市・市制施行760周年記念式典訪問事業

8月1日、本市の姉妹都市・リトアニア共和国クライペダ市が市制施行から760年を迎えました。東日本大震災発生後、さまざまな熱い支援をいただいた同市から記念式典への招待を受け、外館正敏副市長を団長とする訪問団が7月29日から8月7日までの日程で同市を訪問。両市の絆は更に深まり、揺るぎないものとなりました。

姉妹都市・リトアニア共和国クライペダ市

- 位置…バルト海に面した同国唯一の海港都市で、ダネ川の河口近くに位置
- 人口…約18万人
- 産業…水産業、食品加工、パルプ工業が中心
- 建物…ドイツ騎士団により建設されたというドイツ風木組建築が多い
- 経緯…琥珀の産出地であることが縁となり、平成元年7月9日、本市と姉妹都市を締結

the municipal administration enforcement 760th



1 / 今回は東京闘牛の会の方々も応援に駆け付けました
2 / 分かりやすく解説をする柿木由松さん



迫力のぶつかり合いに観客は釘づけ！

目前の熱戦 名を呼び応援

市内外から約8百人

平庭闘牛大会しらかば場所は8月26日、残暑厳しい晴天の下、平庭高原闘牛場で行われました。今回の大会では2歳から15歳までの牛22頭による取り組みが行われ、市内外から約800人の観客が訪れ、東北唯一の闘牛を楽しみました。

迫力のぶつかり合い

オープニングセレモニーでは、いわて平庭高原闘牛会の松坂義雄会長が「熱戦が期待されるので、観戦者の皆さんはひいきの牛の名前を呼んで応援してください。牛は名前を呼ばれると奮起します。勢子も牛も一体となって頑張っています」とあいさつをしました。

取り組みが始まると、柿木由松さんが試合の流れなどを解説。分かりやすい説明に観客は闘牛への理解を深めていました。目の前で繰り広げられる迫力のぶつかり合いに、牛の名前を呼んで応援する観客の姿も見られました。

取り組み終了後、松坂会長は「牛は暑さ弱いので、この暑さが闘牛にどう影響するか心配でしたが、なかなか見応えのある内容だったと思います」とほっとした表情で話していました。

今回は平庭闘牛もみじ場所が、10月14日(日)に開催されます。今年最後の平庭闘牛、まだ見たことがない人はもちろん、見たことがある人も会場で牛と勢子により繰り広げられる熱い戦いをぜひご覧ください！

INTERVIEW

迫力の取り組み！

闘牛を行っているのは知っていましたが、見に来たのは今回が初めてです。思っていた以上に牛が大きく、どの取り組みも迫力がありました。また次回見に来たいと思いました。

久慈 博 幸さん (小久慈町・左)
夕起子さん (小久慈町・右)



次回の取り組みにも期待！

山木龍は、同じ相手に同じ戦い方をしない牛。今日の実戦相手は同じ牛舎にいる牛だったので、戦いづらかったかもしれませんが。次回の取り組みでも横綱らしい戦いに期待しています。

山木龍オーナー 石井 達雄さん (千葉県)

- 1 / 景気付けのもちまき大会。我先にと手が伸びます
- 2 / ハワイアンで盆ダンス！
- 3 / 軽快な太鼓も集まれば迫力があります



大勢が参加者した大盆踊り大会。会場は夏の暑さにも負けないくらいの熱気に包まれました



世代をつなぐ 大盆踊り大会

ふるさとの盆踊り

やませ大盆踊り大会2012は8月21日、やませ土風館で開催。夕日が沈んでも暑さが残る中、会場には約千人が集まり、やぐらを中心に大きな踊りの輪をつくりました。

主催した久慈市観光物産協会の細田稔男会長は「ナニヤドヤラは地元が誇るお盆の踊りです。ふるさとの踊りをみんなで楽しみましょう」と開会のあいさつ。恒例のもちまきを行った後、盆踊りが始まりました。

太鼓の音色で熱く

やぐらの太鼓と夜明けガラス保存会の皆さんによる唄に呼ばれるように、太鼓を持った参加者の列を先頭に親子連れや浴衣姿、海女に仮装

したグループなど大人から子どもまで次々と踊りの輪が広がります。

軽快な太鼓の音色に誘われて参加した観客も、一周する頃にはゆったりと流れるような踊りに呼吸を合わせ楽しんでいました。終盤に近付くにつれて踊りの輪は三重、四重と広がり、会場は熱気に包まれました。

踊りの後は、お待ちかねの懸賞抽選会。今年は自転車や地元の特産品など約百本の景品が用意され、参加者は番号が呼ばれるたびに大きな歓声をあげて盛り上がりつつありました。

やませ大盆踊り大会は今年で4回目。世代をつなぎ、伝統文化を伝える街なかの新たな風物詩として定着しています。

INTERVIEW

最高に気持ちよかった

地元の太鼓サークル「久慈琥珀太鼓」のメンバーで参加しました。太鼓を始めてから3年目。土風館で踊るのは初めてで不安もありましたが、最高に気持ちよかった！たくさんの参加者と一緒に踊れて本当に楽しかったですよ。

中平 光子さん (夏井町)



地域がつながるっていい

帰省中に母と子どもと来ました。久慈の盆踊りは初めて見ましたが素敵ですね！太鼓が入った踊りは地元が無いので新鮮。小さい子どもも踊っていたので驚きました。地域がつながるっていいですね！

左から・佐々木 ゆたかさん (茨城県)
佐々木 亜由美ちゃん (茨城県)
佐々木 勝 子さん (長内町)





高台のウッドデッキから復興を願います

「心の杜」が完成

高台から願う復興

8月26日、門前地内にある環境体験学習「継（きずな）の森」に、震災鎮魂復興祈念「心の杜」が完成。創立50周年を迎えた久慈ロータリークラブが大震災の経験や記憶を後世に伝承することと「心の復興」をテーマに整備を進めてきました。

完成セレモニーで同クラブの播磨孝則会長は「歴史的被害を風化させないように、鎮魂と復興の願いを込めて事業を行いました」とあいさつ。続いて関係者らによって復興祈念看板の除幕、記念植樹が行われました。祈念看板から標高80㍎にある高台のデッキに登った参加者らは午後2時46分、設置された鎮魂の鐘の音と共に海に向かって黙とう。夏井梵天神楽の奉納や津軽三味線の演奏も行われ、参加者は一日も早い復興を願っていました。

「継の森」の概要

- ・整備期間…H14～H24
- ・これまで観察林の植樹、あずまや・トイレなどを整備。今年度はエリア内に「心の杜」として復興祈念看板や海望ウッドデッキ、エリカシロードなどを整備しました

図久慈ロータリークラブ ☎52-4884



TOPICS 復興関係



笑顔で鉄入れを行う山内市長ら

久慈北道路起工式を開催

早期完成と沿線の活性化に期待

8月30日、侍浜町内で久慈市―洋野町間では初めての着工となる、三陸沿岸道路久慈北道路の起工式が行われました。山内隆文市長は式典あいさつで「スピード感をもって事業が進んでおり地元自治体として大変感慨深いです。道路の整備により、早期の復興と共に、沿線市町村の活性化が図られることを祈念します」と着工を喜びました。

また、三陸国道事務所の工藤栄吉所長は「三陸沿岸道路は暮らしを支える道であるとともに、災害に強い街づくり、地域拠点間の連携強化を支える復興のリーディングプロジェクトとして早期完成を



早期完成への意欲を話す工藤所長

TOPICS 復興関係

大規模災害発生時における支援協定締結式



協定締結後、握手をする山内市長ら（左から3番目）

大規模災害時の支援協定締結

避難生活を事業者が支援

9月5日、県内初となる大規模災害発生時における支援協定締結式は、久慈地区合同庁舎で開催。支援協定の締結までの経過について説明後、久慈管内の4市町村長と西部邦彦県生活衛生同業組合中央会会長、桑畑博久慈地区生活衛生同業組合連絡協議会会長により協定書への署名が行われました。協定には、大規模災害発生時に市町村長からの要請を受けた県生活衛生同業組合中央会が、避難中の宿泊・入浴・食事の提供や、帰宅困難者への支援を協力することなどが定められており、災害時の支援が期待されます。

8月11日～9月10日受付分

被災者への義援金、市への寄付金

熱い支援に感謝

久慈市に寄せられた義援金 1,052件 8,517万6,332円（9月10日現在）

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、義援金や市への寄付金が全国各地から寄せられました。

8月11日～9月10日までに受け付けた分は次のとおりです。（敬称略）熱い支援ありがとうございます。

義援金

■県外■

【千葉県】▼清水将夫▼関口英行

【東京都】▼五味秀春▼広岡守穂

【神奈川県】▼神林洋行

■口座振替■

【個人】▼セキネ・エリコ

【その他】▼匿名1件

寄付金

■県内■

【宮城県】▼榎関・空間設計

【埼玉県】▼城野口有吉

【千葉県】▼大森良三

【その他】▼匿名1件

■県内■

【盛岡市】▼岩手県農村振興技術連盟

募 義援金ご協力を

市では、久慈市地震災害義援金を募集しています。

▼受付期間▼

平成25年3月31日まで

▼受付場所（現金）▼

①社会福祉課（市役所1階）

②山形総合支所

③各支所（宇部、侍浜、山根）

▼その他の受付方法

①現金書留：宛先はこちら
〒028-8030

久慈市川崎町1番1号

久慈市役所社会福祉課

②口座振込：入金前に社会福祉課までご連絡をお願いします。

岩手銀行久慈中央支店

普通預金2057188

久慈市地震災害義援金

図社会福祉課

☎52-2119

災害弔慰金について

災害弔慰金は、自然災害により死亡（または行方不明）された方のご遺族に対し、被災の際に居住していた市町村から支給されるものです。避難所生活の継続などにより体調を崩して死亡した等、いわゆる「災害関連死」として判定された場合にも、災害弔慰金が支給されます。詳しくはお問い合わせください。

図社会福祉課

☎52-2119

TOPICS 復興関係

「骨取りさんま」全国へ

地元の復興を強く後押し



田野畑ユウが目を引く骨取りさんまのパッケージ

8月24日、三陸鉄道久慈駅前でイオン株式会社（岡田元也グループCEO）、市漁業協同組合（自健一郎組合長）、三陸鉄道株式会社（望月正彦社長）が連携して開発した「骨取りさんま」の商品発表会が行われました。骨取りさんまは、フライパンで手軽に食べられるように骨が取り除かれ、シソやバジルなどの味が付けられています。また、パッケージに印刷された三陸鉄道のオリジナルキャラクター「田野畑ユウ」が目を引きます。

商品を製造する市漁業協同組合の自組合長は「小型のサンマに商品価値を付けようと企画し、今回の商品ができました。お買い求めいただき地元の復興を後押ししてください」と力強くあいさつをしました。



説明を聞き試食する参加者

試食をした碁石チヨさん（小久慈町）は「食べやすくておいしいです。ご飯と一緒に食べたいですね」と笑顔で話してくれました。



発表後の表情に達成感が表れています

わたしの主張久慈地区大会

それぞれの 思いを訴え

わたしの主張久慈地区大会（同実行委員会主催）は8月24日、洋野町立中野中学校で開催。前身となる久慈地区中学校防犯弁論大会から数えて通算51回目の開催となる今大会に各中学校の代表者が自分の経験から得た考えや思いを心の底から訴えました。

家庭やいじめ問題、クラブ活動など、物事に正面からぶつかり、真剣に悩み、考えた発表を傾聴した生徒たちは真剣な表情で自分のことのようにうなずきながらメモを取っていました。

麦澤正剛審査委員長は「それぞれの思いを的確に、熱意をもって発表できました。いろいろな経験や実践を踏まえ、これからの前向きな意見に好感が持てました」と講評しました。

【入賞者 ※敬称略】（久慈市分）
○優秀賞…畑中智香（山形中3年）「あの、すずらの花のように」
○優良賞…中野美幸（久慈中3年）「日本で生きている私」、夏井杏香（夏井中3年）「真実を知ること」



真剣なまなざしで発表する畑中智香さん

SPORT

久慈地区中学校陸上競技大会が開催 応援を受け、選手も全力



四種競技で大会新記録の澤里さつきさん（久慈中・3年）

8月28日に久慈地区中学校陸上競技大会が久慈総合運動場で行われました。大会には久慈地域の15校から約500人が参加し、記録に挑戦しました。競技前から各学校の力強い応援は始まり、競技開始に向けてその声は大きくなりました。母校の応援を受け選手の士気も高まり、どの選手も全力で競技に挑みました。

子どもを応援に来ていた新山康恵さん（宇部町）は「暑くて大変だと思いますが、どの子も暑さに負けずに頑張っていてほしいですね」と声援を送っていました。女子の競技では、100mハードル、走幅跳び、4×100mリレー、四種競技で久慈中学校の生徒が大会新記録を記録。生徒たちの今後の成長が楽しみです。



400mで快走を見せる長坂優貴くん（山形中・3年）

SPORT

三船十段記念館スポ少、日整全国少年柔道大会へ 優勝を目標に、みんなで



日々真剣に練習する選手たち

10月8日に東京都の講道館で行われる第21回日整全国少年柔道大会に、三船十段記念館柔道スポーツ少年団が出場します。同少年団の選手たちは大会へ向けて日々練習を重ねています。全国大会への出場権は、2月に行われた第34回岩手県スポーツ少年団柔道大会での優勝で獲得したものです。同大会へ出場する団体メン

バーの主将の佐藤大知くん（長内小6年）は「練習は順調に進んでいます。大会では、優勝を目標にチームみんなで頑張ります」と意気込んでいました。同少年団の全国大会出場は今年3回目になります。柔道のまち久慈の将来を担う選手たちをみんなで応援していきましょう。



全国大会へ向けガッツポーズ！



市立中学校英語弁論大会でスピーチをする歌連さん

9月4日に盛岡市で行われた、第62回岩手県中学校英語弁論大会（岩手県中学校英語教育研究会主催）に参加した嵯峨歌連さん（久慈中学校・2年）が弁論の部で見事3位に入賞。全国中学校英語弁論大会への出場が決まりました。「昨年の大会では4位と一歩届かずに悔しい思いをしましたが、その経験をバネに今

年は自分の全てを出し切れました」と話す歌連さん。家族やたくさんの人への感謝の気持ちを伝えるために堂々と発表できたことが結果につながったのではないのでしょうか。小学2年生から英語を学び始め、中学校では、英語担当の中坂明子先生との出会いもあり、改めて英語の楽しさを実感しているそうです。

将来は世界で活躍するピアニストになることが夢と話した歌連さん。「自分の思いを聴いて感動してもらえようという発表をしたい」と全国大会への意気込みを語りました。自分が納得できる発表に結果は自然とついてくるはず。英語弁論を通して自分と向き合いながら成長していく歌連さんの発表に期待です。

自分の思い 感動してもらえる 発表を—

Congratulation
県中学校英語弁論大会
3位入賞
全国大会出場

嵯峨 歌連さん

第62回岩手県中学校英語弁論大会
自作部門第3位



SPORT

県いきいきシルバースポーツ大会

2年ぶりの大会に達成感の笑顔



見事なバトンパスを見せた長寿リレー

第24回岩手県民長寿体育祭いきいきシルバースポーツ大会（県など主催）は9月15日、県営運動公園陸上競技場で開かれました。

震災の影響で2年ぶりとなった大会には、県内11地区の60歳以上約1400人が参加。30度を超える残暑厳しい中、市選手団89人は100リレーやボール送り、ゲートボールリレーなど6種目で熱戦を繰り広げました。

400リレーを男女8人で走る「長寿リレー」で久慈地区チームは2位と大健闘。短距離・長寿リレーの柴田聡監督は「正直びっくりです。若い選手の活躍とバトンパスを念

Congratulation

市選手団の主な成績（敬称略）

- 100リレー競争（65歳以下）…第3位・梅沢政隆
- 60リレー競争（75歳以上）…第2位・村田東助
- 長寿リレー…第2位
- ボール送り…第2位
- ゲートボールリレー…第3位
- ボール運びリレー…第2位、第3位

入りに練習したことが勝因だと思います」と初の入賞を喜びました。

久慈地区チームの成績は前回に続き総合第7位。各選手とも達成感あふれる笑顔が印象的でした。



「ハイ！」と声を掛け合い、流れるようにボールを送ります

SPORT

三船十段杯争奪柔道大会と柔道教室を開催

熱戦に観客の応援にも熱



各部門で熱戦が繰り広げられました

9月2日に市民体育館で行われた第50回三船十段杯争奪柔道大会には、県内外から約720人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。師弟対決となった試合もあり、観客の応援にも熱が入りました。

本市の選手は、高校以上女子の部で久慈高等学校が優勝したほか、中学校男子の部と一般の部で長内中学校と市柔道協会がそれぞれ2位、高校以上男子の部で小原俊さん（市柔道協会）が3位に入賞。本大会でも柔道のまち久慈の強さを発信しました。

大会前日の9月1日には、市民体育館で講道館道場の向井幹博さんとロンдонオリンピック柔道女子代表の田知本遥さんを招き、柔道教室が開催され、市内外の小・中学生約290人が参加。実技指導に先立ち行われた講話では、ロンдонオリンピックについて子どもたちから田知本さんへの質問が相次ぎました。

実技指導では、体さばきや寝技、寝技の返し方などが行われ、子どもたちは一つ一つ確認しながら練習に励んでいました。教室に参加した林崎裕己くん（待浜中2年）は「これまでくずしをあまりやってきていなかったのですが、今日の教室はためになりました。今後の練習にも生かしていきたいです」と話していました。



田知本さんから指導を受ける子どもたち

RESPECT

市内の各地区で敬老会が開催

温かいもてなしに終始笑顔



米寿祝いを受け取る清水マツヨさん

9月17日は長年にわたり社会につくしてきた老人を敬い、長寿を祝う「敬老の日」。9月中は市内の各地区で人生の先輩方に真心を込めた感謝のうたげが開かれました。

畑田・沢里地区の敬老会は9月9日、畑田・沢里公民館で開催。町内から75歳以上の26人が出席し、元気な顔を見せました。

主催した同町内会の畑田邦博会長は「皆さんの元気な顔を見ることができて幸せです」とあいさつ。山内隆文市長は「皆さんには地域づくりを一生懸命に取り組んでいたいただきました。戦後も決して諦めず、前に進んできた強い気



かわいらしい園児の踊りに表情も緩みます

持ちに負けないように復旧・復興に向かっています」とと祝辞を述べました。

乾杯の後は町内の皆さんや畑田保育園の園児たちが踊りなどを披露。出席者は地域の皆さんからの温かいもてなしを受けて終始笑顔。久しぶりの友達との再会に元気な声で近況を語り合っていました。

敬老会の前日に88歳の誕生日を迎えた清水マツヨさんは、山内市長から金杯の贈呈を受けて「若い頃、苦労してきたけど、こんなにしてもらって幸せです」と敬老会と米寿の二重のお祝いに最高の笑顔を見せてくれました。

SCHOOL

元日本代表選手が久慈湊小学校に来た！

「頑張る」、決めるのは自分



東さんとのゲームを楽しむ児童

8月28・29の両日、久慈湊小学校（中居澄江校長）にハインドボール元日本代表の東俊介さんが来校し、同校の5・6年生の児童との交流が行われました。この交流は、日本体育協会と日本オリンピック委員会、日本サッカー協会、日本トップリーグ連携機構が、東日本大震災の復興支援を目的に立ち上げた「スポーツこころのプロジェクト」の「スポーツ笑顔の教室」として行われたもので、市内では初めて開催されました。

28日の教室は、同校の6年生33人を対象に開催され、保護者6人も見学しました。前半は、手をつなぎ輪になった児童の一人がしっぽを付けて、鬼がそれを取るゲームを



児童らに問いかけながら話す東さん

実施。鬼からしっぽを守るためにどうすればいいかを班ごとに話し合い作戦を考えました。ゲームを通じて子どもたちは、コミュニケーションの大切さを確認しました。

後半は教室に移動し、ハンドボールとの出会いから日本代表のキャプテンになるまでの挫折や得たことを話しました。東さんは体験談を通して「頑張るかどうか決めるのは自分であること」、「しんどい時ほど思いやりを持つこと」の大切さを語りかけました。

6年の坂本璃南さんは「諦めずに挑戦してきたすごい先生だと思います。私もこれからは諦めないようにしたいです」と思いを新たにしたい様子でした。



大会宣言をする濱欠分会長（右）ら

長内地区で交通安全緊急大会 死亡事故の抑制に向け

9月6日、長内公民館で長内地区の住民ら約120人が参加し、長内地区交通安全緊急大会が開催。県久慈地区交通安全協会長内分会（濱欠明宏分会長）が主催したもので、今年に入り交通死亡事故が同地区区内で2件発生していることから、地域住民へ注意喚起と交通死亡事故抑制を目的に行われました。

大会では濱欠分会長のほか、長内地区活き活き振興協議会一沢明男会長、長内地区老人クラブ連合会村田東助会長らが交通死亡事故防止に向け地域住民が一体となり取り組む大会宣言を行いました。

久慈市社会福祉事業団 職員募集のお知らせ

▶募集職種

募集職種	必要資格 (取得見込みを含む)
看護師1人	看護師
介護員3人	介護福祉士
事務員兼生活相談員1人	簿記2級 社会福祉士

▶受験資格…平成25年4月1日現在で①45歳未満（看護師・介護士）または30歳未満（事務員兼生活相談員）②普通自動車運転免許所持者（AT限定不可）一の全てに該当する者

▶申込方法…申込用紙は下記で交付。郵便請求は、封筒の表に「職員試験申込書請求」と朱書きし、あて先と郵便番号を明記して90円切手を貼った返信用封筒（長3）を同封すること

▶申込期限…10月26日(金)必着

▶試験日時…11月11日(日)10時～

▶試験会場…特別養護老人ホームぎんたらす久慈

〒028-0014 久慈市旭町7-105-10

CONFERENCE

「あまちゃん」支援推進協議会設立総会 3部会で地域を活性化



あいさつをする山内市長

9月4日、朝の連続テレビ小説「あまちゃん」支援推進協議会設立総会がやませ土風館で行われ、久慈地域の市町村及び関係団体など約40人が参加しました。

総会に先立ち、事務局を代表して山内隆文市長は「久慈地域全体をどう活性化させていくか、大変に重要な課題です。放送により当地域への関心はさらに高まるものと思われま

いさつ。総会では協議会規約が承認され、会長には山内市長が選任されました。

協議会には①ロケ支援部会②受入態勢整備部会③誘客宣伝部会—が置かれ、それぞれ収録支援、関連商品開発やおもてなし向上、ロケ地等の宣伝に関する業務を行います。

今後の同協議会の活動に期待が高まります。



真剣な面持ちで設立総会に臨む参加者

秋の狂犬病予防注射

☎生活環境課 ☎54-8003・山形総合支所住民生活課 ☎72-2132

予防注射の日程 ※会場の「C」はセンターの略

①10月10日(水) 山形地区

時間	会場
9:15～9:35	戸呂町消防屯所前
9:40～9:45	岡堀公民館前
9:55～10:00	出ル町ふれあいステーション前
10:05～10:15	日野沢消防屯所前
10:20～10:25	新落安橋脇
10:30～10:40	荷軽部地区集落 C
10:55～11:10	来内地区集落 C
11:15～11:20	九戸高原橋脇
11:40～12:00	山形総合支所前
13:05～13:10	日影橋脇
13:15～13:25	南野市蔵様宅前
13:30～13:40	霜畑地区コミュニティC
13:50～13:55	旧JR回轉場脇
14:00～14:05	宅石茂義様宅前
14:40～14:45	つなぎ地区消防コミュニティC
14:50～14:55	向屋敷生活伝承館
15:00～15:05	新田集会場

②10月11日(木) 久慈地区

時間	会場
9:00～9:20	市民体育館
9:35～9:55	上長内公民館
10:10～10:30	宇部デイサービス C
10:45～11:05	久喜公民館
11:20～11:40	小袖漁村 C
11:55～12:15	舟渡海水浴場駐車場
12:30～12:50	元木沢停留所前

③10月12日(金) 久慈地区

時間	会場
9:00～9:20	市役所西口
9:30～9:40	大川目小学校脇
9:45～9:55	大川目公民館
10:20～10:40	山根公民館
11:00～11:10	岩瀬張公民館
11:20～11:40	小久慈公民館
13:00～13:20	侍浜公民館
13:35～13:55	北野公民館
14:10～14:30	高砂公民館
14:45～15:05	夏井改善 C

本年度、まだ予防注射を受けていないイヌの飼い主は最寄りの会場で必ず受けてください。実施日に行けない場合は動物病院でも受けられます。

▼注射料金…3100円（注射済票交付手数料を含む）※イヌが未登録の場合は登録料金3千円が別途必要

▼持参する物…通知はがき

EXCHANGE

久慈広域市町村の消防団が水防訓練

知識と技術の習得に努める



手際よく土のうを積み堤を作る消防団員

水防訓練に初めて参加した久慈湊自主防災会連合会の佐々木孝一会長は「日ごろから、砂と土のう袋の保管場所などの準備が必要だと思いました」と課題をあげながら、「訓練の内容は消防団と一緒に地域住民に伝達したいと思います」と訓練を振り返りました。

積土のう工法の訓練では、消防団員は重さ約30kg土のうを積み方向に注意しながら手際よく積み、堤を作成。その後、鋼杭で土のうを固定しました。また、舗装された堤防などではビニールシートを活



シート張り工法も丁寧な説明を受け体得

EXCHANGE

東日本大震災後初の湾口防波堤ケーソン据え付け

復旧と整備に地元の応援を



えい航されるケーソン

9月6日、東日本大震災後初となる久慈湾湾口防波堤のケーソン据え付けが行われました。

諏訪下外防波堤の内側で製作されたケーソンが、南堤への据え付けのため、約2.5km沖合にえい航されました。ケーソンを既設の防波堤と並べるため、8隻もの船で8方向から引つ張るなど慎重に作業が進められていました。釜石港湾事務所の尾崎幸男企画調整課長は「久慈沖は波が荒いので、多くの船が必要です」と説明。ケーソンの据え付け位置の調整と並行しながら、着底に向けた注水作業が行われ、水面上に7mほど姿を現し浮いていたケーソンも徐々に沈み、2m程度の姿を残し着底



据え付け作業の様子

しました。その後、波に負けない重量にするため、ケーソンに中詰め材の投入、さらに上部コンクリートの打設など、2日ほどかけ据え付けが完了となります。

釜石港湾事務所の畑田武見副所長は「現在、久慈湾湾口防波堤は早期復旧と通常整備を進めています。今後も地元の要望に応えるべく整備を進めていくので、引き続き地元



広報リポーターの突撃取材！



秋まつりをしっかりPRしてきました

おはやし
音頭でPR

9月15日、大川目町の備前組30名は盛岡市で行われたIBCまつりに参加しました。会場は多くの人でにぎわい大盛況。備前組は音頭やおはよしの披露の後、観光チラシの配布などを行い観光大使の一役を担いました。(小倉利之リポーター)



巡視船「しもきた」の前でパシャリ！

夏井小PTA
海保で研修

夏井小PTA46名は8月25日、八戸海上保安部を訪問。海上保安庁の仕事の説明してもらい、鮫角灯台の特別公開では太平洋の眺めを満喫しました。他にも巡視艇の見学や「海猿」装備の試着など、皆大満足の日でした。(梅沢政隆リポーター)

ご長寿おめでとうございます

小屋畑ハツネさんが100歳に

グループホームみどりの里に入所する小屋畑ハツネさんが8月22日に100歳を迎え、同日、長寿祝いが開かれました。

久慈市からお祝い状と祝い金、家族から花束を受け取り「たくさんたくさんありがとう」と笑顔で何度も感謝の言葉。三男の満夫さんも「昔から働き者で丈夫な母です。これからも元気で長生きしてほしいですね」と喜んでいました。

子どもを4人もうけ、家事のほか近所の農業や漁業を手伝い、家計を支えたハツネさん。物を作るのが好きで、近所の公民館のうどん作り講習会では講師を務めた経験もあるそうです。



三男の満夫さんから花束を贈られ、笑顔のハツネさん



パレードに沿道から声援

第19回やまがたガタゴンまつり

8月26日、山形町で第19回やまがたガタゴンまつり(同実行委員会主催)が開催されました。山車・みこし・流し踊りのパレードが行われ、子どもたちが山車を引く声や、威勢のいいみこしの掛け声に続き、山形町内各地区ごとに見事な踊りが披露されました。30度に迫る暑さの中、沿道ではたくさんの観客が担ぎ手や踊り手に温かい声援を送りました。流し踊りに参加した田中美世子さん(山形町)は「今年は例年以上に暑くて流し踊りも大変でした。それでも沿道の応援があったので踊っていても張り合いがありました。来年も頑張りたいです」と来年への意気込みを話していました。

その後はガタゴン広場に場所を移し、久慈東高校吹奏楽部による演奏や、山形中学校のよさこいソーラン、地元の郷土芸能などのステージイベントに続き懸賞付盆踊り大会が開催。会場は遅くまで多くの人でにぎわい、過ぎ行く夏を惜しみました。

5部門で熱戦を展開

市民ソフトバレーボール大会

第7回久慈市民ソフトバレーボール大会は9月9日、市民体育館で開催。トリム、レディースなど5部門に29チーム150人が参加し、熱戦を展開しました。トリムⅡ部(40歳以上)を制した「しもくん」チームの二又祐子さん(山形町)は「きつかったけど勝てて良かったです」と笑顔でした。



熱い戦いを展開する選手たち



息の合った寸劇で心肺蘇生法を解説

消防救急へ理解深める

消防救急フェア開催

9月9日の救急の日、久慈消防署で消防救急フェアが開催され、消防車や救急車の見学のほか、レスキュー訓練の披露やAEDの取り扱い講習なども行われました。消防士による救急PR劇場では、コント仕立ての寸劇に、来場者は笑顔になりながら、心肺蘇生法への理解を深めていました。

声援、選手を励ますー

第7回市長旗争奪少年野球大会

9月8・9の両日、第7回市長旗争奪少年野球大会が開催され、12チームによる熱戦が繰り広げられました。応援する保護者らの声援を受け、選手たちは最後まであきらめずにプレーしました。戦いを制したのは天神堂ファイターズスポーツ少年団。同少年団は2年ぶり2回目の優勝です。



声援をうけ、選手も奮闘しました



講演をする北川正恭氏

市民の目線で発見をー

北川前三重県知事が講演

8月29日、市内催事場で早稲田大学大学院教授で前三重県知事の北川正恭氏による地域講演会が行われ、市民ら約100人が参加しました。北川氏は講演の中で「市民目線で市の課題とお宝を発見することが大切です」と訴え、参加者は時折メモを取りながら熱心に聞いていました。

長年の清掃活動が評価

久慈高に小さな親切実行章

8月24日、県立久慈高校(加藤春男校長)に「小さな親切」運動県本部(高橋真裕代表)から「小さな親切」実行章が交付されました。10年以上続けている久慈川河川敷周辺の清掃活動が評価されたもの。生徒会長の下川原光輝さんは「これからも活動を継続していきたい」と笑顔で話していました。



実行章を手に笑顔の下川原光輝さん(左)と谷崎雅さん



説明を聞き、文化財を熱心に見る参加者

見て触れた文化財の旅

文化財見学バスツアー

市文化財めぐりは8月18日に開催。4年で市内の文化財を一巡するツアーで、今回は待浜、夏井、大川目方面の指定文化財など30カ所を見学しました。参加者は担当者の説明に、熱心に質問していました。参加した間ケイ子さん(寺里)は「実際に見て触れて感動しました」と満足した様子でした。



市長賞
「小袖海女海岸」 膳棚 博幸さん



県北広域振興局長賞
「五月晴れ」 古川 和夫さん



商工会議所会頭賞
「ツツジの咲く頃」 桜庭 義孝さん



最優秀賞 又城 政俊さん エリカの咲く頃

9月11日、やませ土風館で第1回「花と緑を活かした久慈の景観」フォトコンテスト（エリカシーラードくじ推進協議会主催）の表彰式が行われました。

表彰式で同協議会の新田貞治会長は「景観は市民の共有財産です。今後とも機会を設け久慈の魅力を紹介していきたいと思います」とあいさつしました。

表彰式終了後、表彰者らは、展示作品を見ながら、撮影時の状況などを情報交換していました。

久慈の魅力写真で

第1回「花と緑を活かした久慈の景観」フォトコンテスト

久慈で再発見した風景

愛鳥の森で再発見した風景です。今まで久慈の写真をあまり撮ってなかったので、これから久慈の良いところを発見して、撮影していきたいです。将来は個展など開いてみたいです。



最優秀賞受賞
又城 政俊さん
(田屋町)

INTERVIEW

次回はぜひ参加したい

花と緑を活かした景観というテーマに、撮影者がテーマにどう迫れたかを4人の審査員が審査しました。今回は審査員ということで出展できませんでしたが、次回こそぜひ参加したいです。



審査委員長
川代 進一さん
(天神堂)

編集後記

▶9月は子どもから高齢者まで、多くの素敵な笑顔に出会うことができました。秋まつりも山車などの制作者や参加者の熱意がひしひしと感じられました。関係者の皆さん、お疲れさまでした！▶これから季節が変わって急に寒くなりますが、風邪などひかないように「食欲の秋」で乗り切りましょう！私はお酒も一緒に。 (水上)

▶あれ程暑かった日々が、秋まつりと共に去っていきました。どんなに暑くても、必ず秋は来るんですね。まつりの取材を終えた月曜日の朝、私の元を去って行ったものがもう一つ。長年使用していた電気かみそりの首がポツキリ折れてしまいました。慣れないT字かみそりで、鏡越しに一足早い紅葉を見る羽目に…。 (広崎)

田代 幸

ちゃん(2歳)
田代 美智子さんの孫
(長内町)



うどうらの
外道 蘭乃
ちゃん(11カ月)
知道 操さんのひ孫
(長内町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返しします。